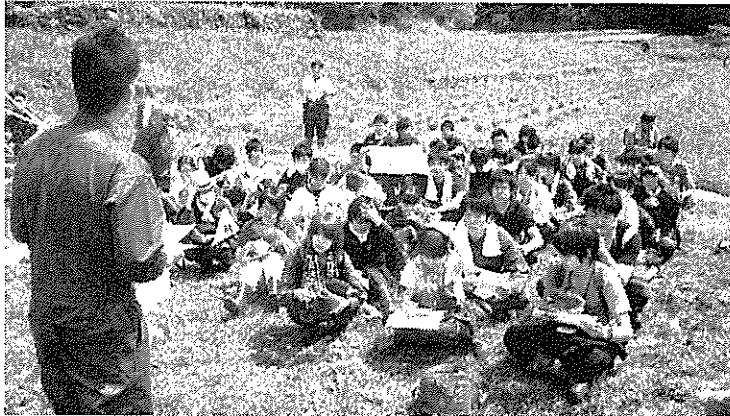


昭和36年5月
第3786號

長和町

人気の「山村再生プロジェクト」

東京農大学生50人が田植え実習



尾美さんから長和町について聞く学生ら



田植えをする学生も

段々畑の田
地区芹沢の
田植えを終にコシヒ
カリともち
米の苗を手

東京農業大
学が連携し、
今年度から
スタートし
た「山村再
生プロジェ
クト」

東京農業大
学と
連携、農業
の活性化と山村の再生を目
の再発見や農業人材育成
を目指すというもの。20
日には約50人が来訪し、
農業指導者の黒沢勇人さ
んや竹内勝則さんらの指
導で実習。

同町長久保

授は「この実習の人気は
高く、募集がすぐいっぱい
になる」とし、「地元の
人たちとふれあい、授業
と実習が補完し合える関
係にあるので有り難い」と話した。

同プロジェクトは地域
活性化と山村の再生を目
的で産官が連携、農業
の再発見や農業人材育成
を目指すというもの。20
日には約50人が来訪し、
農業指導者の黒沢勇人さ
んや竹内勝則さんらの指
導で実習。

学生らが実習を続けた。
20日から町内で行われ、
など町民の多くが関わり、
学生と交流ができる」とし、
「学生たちの新しい、若
い発想で町に提案もある」

と、連携プロジェクトを
歓迎。同大の立岩寿一教
授は「この実習の人気は
高く、募集がすぐいっぱ
いになる」とし、「地元の
人たちとふれあい、授業
と実習が補完し合える関
係にあるので有り難い」と話した。

同プロジェクトには地
元の農家が指導者になる
など町民の多くが関わり、
学生らは23日まで滞在。
遊休荒廃農地の再生や獸
害柵の設置、「東京農
大の森」の遊歩道整備、夏
ラフト作りなど町民らと
実習の傍ら、山の子学園
で森林資源を活用したク
マ祭りや竹内勝則さんらの指
導で実習。

同プロジェクトは地域
活性化と山村の再生を目
的で産官が連携、農業
の再発見や農業人材育成
を目指すというもの。20
日には約50人が来訪し、
農業指導者の黒沢勇人さ
んや竹内勝則さんらの指
導で実習。

学生らが実習を続けた。
20日から町内で行われ、
など町民の多くが関わり、
学生と交流ができる」とし、
「学生たちの新しい、若
い発想で町に提案もある」

と話した。

元の農家が指導者になる
など町民の多くが関わり、
学生と交流ができる」とし、
「学生たちの新しい、若
い発想で町に提案もある」

と話した。

ウグイの簡易フ化

上田の水産試験所で成功

千曲川のウグイ(通称ハヤ)は年々減少の一途
をたどり、ことに近年は加速度的に減少してき
ていて、上小漁業組合ではウグイが絶える
のを防止するため、数年前からツケバ業者の協
力を事業を進めていた。指導に当
つっている水産研究所では、養魚池
放流して来ているが、今年は四百
万尾放流を目標にツケバ業者の協
力を事業を進めている。指導に当
つている水産研究所では、養魚池

水区研究所の養魚池を利用しつ化
したものを上田市小牧の水産店淡
拓地で販売している。そこで優先的に
購入してやろうということ

▼待望の電灯つ
くは真田町鳴尾開
拓地　陸の孤島とい
われた真田町の
鳴尾開拓地にも、
いいよい年内に電

上田新参町教会に120人集う
メサイアを歌う会
上田新参町教会に120人集う
メサイアを歌う会
鎮魂と復興を祈るコンサート
上田新参町教会に120人集う
メサイアを歌う会

メサイアを歌う会(今
上田市大手の上田新参町
教会で「鎮魂と復興を祈
るコンサート」を開催、
約120人が参加した。
今井代表は「長い避難生
活や瓦礫の山を思うと涙
が出る。心に届くようにな
りたい」と話す。

第一部は、命の讃歌の
混声合唱組曲『水のいの
ち』。曲中の海という
歌詞から津波と重なり苦
しい気持ちもあるが、水
がないと生きていけない。
慰めとエールの思いで歌う」と言い、歌つた。
第二部は平和の祈りとして、聖書を学びながら一
年半に渡り練習したヘン
デルのオラトリオ『メサイア』を高らかに歌い上
げた。

新参町教会・吉田弘牧師は「大災害から2カ月経つが、原発の事故で未だに不安を抱えている。心の慰め、希望につながるコンサートになれば」と話す。鎮魂の歌声は、窓を開け放った会場の外にまで響き渡った。

長和町と
東京農業大
学が連携し、
今年度から
スタートし
た「山村再
生プロジェ
クト」。2回目の今回は
活動性化と山村の再生を目
的で産官が連携、農業

元の農家が指導者になる
など町民の多くが関わり、
学生と交流ができる」とし、
「学生たちの新しい、若
い発想で町に提案もある」

と話した。

元の農家が指導者になる
など町民の多くが関わり、
学生と交流ができる」とし、
「学生たちの新しい、若
い発想で町に提案もある」

と話した。

元の農家が指導者になる
など町民の多くが関わり、
学生と交流ができる」とし、
「学生たちの新しい、若
い発想で町に提案もある」

と話した。



沢田区の消防自動車車庫

▼学校へ教材用電話機
田局関係は八校
報電話局を通じて教材用の磁石式
電話機を贈っているが、今年は全
部で八十の小中学校に二台ずつ贈
られることに決まり上田局には八
校の割当が來たので、いま贈呈先
を選んでいる。この電話機は「デ
ロビル」と呼ばれる壁掛け式の磁

石式電話機
▼沢田区の消防自動車車庫で替え
てある消防用ポンプ自動車の車庫

◆「生活に生かすデザ
インセンスアップ講座

心をこめて歌う

新参町教会・吉田弘牧師は「大災害から2カ月経つが、原発の事故で未だに不安を抱えている。心の慰め、希望につながるコンサートになれば」と話す。鎮魂の歌声は、窓を開け放った会場の外にまで響き渡った。

学する児童・生徒らのス
クールバス運営費に役立
てようと始まり、今回で
20年ほど。今年は県北部
地震災害復興支援も兼ね
て支援者らが日用品や衣類
またキムチや焼肉などの
食品を並べた。

あいにくの雨になつた
が開始時には次々と客が
訪れ、100円の値札の
ついた雑貨類などを小脇
に抱えた。この日約40万
円を売り上げ、収益金に
一部は栄村への支援金に
する予定という。金委員
長は「現在は毎日7人が
松本まで勉学に通い、バ
スの経費だけでも大きな
金がかかる。しかし困つ
ているときはお互いま
で、今回は栄村も応援す
る」と話した。